

令和6年度 県立水戸特別支援学校 自己評価表

No. 1

目指す学校像	◆一人一人を尊重し、笑顔で学べる学校 ◆安心して挑戦できる学校 ◆保護者・地域に信頼される学校		
昨年度の成果と課題	重 点 項 目	重 点 目 標	達成状況
成果 ○ICTを活用し、児童生徒の実態に合った学習方法を探りながら学習を進めることができた。また、体験的な活動を多く取り入れ、進んで地域へ出での学習を展開した。 ○コミュニティ・スクールをとおして、アイディアを出し合い、児童生徒や保護者、地域とともに学校づくりをする意識が高まった。 ●授業づくりにおいて、主体的な学びにつながる支援方法や指導方法を探り、児童生徒の個々の実態に応じて授業が展開できる実践力を向上させていきたい。 ●学校からの発信力を高め、本校の取り組みを保護者や地域に届けていきたい。	1 学習活動等	① 自己表現力を高める授業実践〈授業改善研修・学校研究との連動〉 ・対話を意識した授業作り ・ICTを活用した授業作り ・地域資源を活用した授業作り（CSとの連動） ・交流及び共同学習の充実 ・体育的・芸術的活動の充実 ② 教科指導等の充実 ・教科等の指導と関連した自立活動の指導の充実 ・3観点による学習評価等の充実	
	2 安心安全な学校	③ 児童生徒・保護者等との信頼関係に基づく学級・学年経営 ・安心して学べる環境作り ・学校事故等の未然防止 ・安全な医療的ケアの実施 ④ いじめや不登校の早期発見・解決に向けた取組の推進 ・アンケートの実施やいじめ対策委員会の充実等 ⑤ 地域や関係機関との連携した防災体制の充実 ・学校防災連絡会議の活用と充実等	
	3 地域連携	⑥ コミュニティ・スクールの活用・充実 ・活動の継続と見直し ・子供の願いの実現化 ⑦ PTAと連携した地域活動の推進 ⑧ 情報発信の充実 ・HPの充実、PTAやCSと連携した情報発信の工夫	
	4 センターの機能	⑨ センターの機能の充実 ・自立活動の視点からの助言・援助 ・適切な学びの場の検討に向けた助言	
	5 学び続ける教師	⑩ 専門性の向上 ・自立活動の指導力 ⑪ 主体的・対話的で深い学びの実践力 ・授業改善研修等の実施	
	6 働き方改革	⑫ 子供のための時間作り ・業務内容の見直し及び改善の実施 ⑬ 心理的安全性のある職場環境作り ・コンプライアンスの推進	

評価項目	具体的目標	具 体 的 方 策	重点目標との関連	評価	成果(○)、課題(●)及び次年度(学期)への改善策(◇)
学校経営 管理 教育計画	学校経営における、重点目標の達成	・副校長・教頭、各部主事・校務分掌部長との連携 ・企画及び運営委員会での進捗状況の確認 ・クラスルームを活用した情報の共有	③ ④		
教職員の 育成及び 指導・監督	教科等指導力の向上	・授業改善研修・学校研究と連動 ・教科等の指導と関連した自立活動の指導の充実 ・3観点による学習評価等の充実	② ⑩ ⑪		
対外活動	・コミュニティ・スクールの充実 ・センター的機能の充実	・昨年度までの活動の継続実施及び児童生徒意見の実現化 ・自立活動の視点からの助言・援助及び適切な学びの場の検討に向けた助言	⑥ ⑦ ⑧ ⑨		
コンプライ アンス確保	不祥事ゼロ	・人権教育（みんなえがお）アンケート年3回実施 ・アンケートの結果を踏まえた教員面談での助言 ・見られる環境づくり（CSの活用等による来校者の集客） ・不祥事防止等に向けての研修の実施 ・コンプライアンス委員会の充実と活用	③ ④ ⑤		
働き方 改革	心理的安全性のある職場環境作り	・トップダウン・ボトムアップ研修の両立 ・コンプライアンス委員会の活用・充実 ・話し合いの場の設定	⑫ ⑬		
I C T活用	児童生徒一人一人に応じた、生活を豊かにするタブレット端末の活用	・児童生徒の実態に応じた、ICT活用研修実施 ・児童生徒の実態別ICT教材の蓄積・共有 ・ICT部と連携した教員研修の実施 ・授業参観及び教員面談等での確認	① ②		
学習指導	児童生徒の自己表現力の育成	・授業改善研修・学校研究と連動 ・対話を意識した授業作り ・ICTを活用した授業作り ・交流及び共同学習の活用 ・地域資源の活用	① ②		

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない